噩



令和3年3月24日発



## 新しい「あたりまえ」をみんなでつくっていこう!

~校訓「至誠」を意識し、感謝の気持ちで「進化・新化」していこう~

## ~校長先生・令和2年度「修了式」での講話より~

今日の「修了式」は、今までにないくらいの充実感を感じる修了式となりました。

昨年度は、この同じ時期に、生徒会の認証式は行えませんでした。生徒会の立会演説会や生徒会役員選挙も行えませんでした。臨時休校の関係で、全部できませんでした。皆さん、覚えていますか。今まで通りのことができませんでした。今まで通りのことを「当たり前にできること」。この「有難さ・ありがたさ」を心から感じた1年となりました。

この1年、今まで通りの生活ができなくなったことも多かったと思います。この1年間、皆さんは何を 感じましたか。確かに様々なことが大変な1年間だったと思いますが、校長先生としては「大変だったか らこそ大きな充実感」を感じています。「時間は有限」です。これも強く感じました。「限られた時間で最 大の結果を出す努力をすること。最大のパフォーマンスを発揮できるように努力すること」この大切さを、 新型コロナウイルス感染症防止対策によって教えられた気がしました。

令和3年度は「前進あるのみ」です。コロナが収束したら、コロナ感染拡大前の生活に戻りますか。戻れますか。それは「NO」だと思います。人間は進歩しなければなりません。人は前に進むことで「進化」をしてきました。「進化」することで、様々な困難を乗り越えてきました。「前に進むこと」というのは、とても大切なことなのです。そうしなければ、また「別のウイルス」が流行したときに、同じことの繰り返しになってしまいます。今までの努力や苦労が水の泡となってはいけません。もしそうなってしまったら、何のために我慢し、工夫し、努力してきたか、意味がなくなってしまいます。

もう一つ覚えておいてほしいことがあります。それは、どんなに時代や状況が変わっても、「これからも変わらないようにしなければならない大切なことがある」ということです。「大切にしなければいけないことは変えず」に、「変えていかなければならないこと」をしっかりと見つけていきたいと思います。「人としての優しさや温かさ、温もり、人を大切にするということ……」どんなことを「変えないようにするのか」を考えることが、「新しい当たり前」をつくっていくことにつながっていくと思います。人は、人と人との間で成長していきます。「人間」は人との関りで成長をしていきます。コロナによって「リモート」という言葉や概念が広く普及しましたが、人の成長には「直接、面と向かって関わり合うこと」がとても大切だと思います。「喜び・悲しみ・笑い合い・時にはけんかもして…」人は成長していきます。だからこそ、学校で生活していくことや勉強していくことが大切なのです。この体験は、リモートではなかなかできません。「人と人が直接、顔を合わせてと向かって話をしていくことの大切さ」これは、どんなにネットやSNSが普及していっても変わらないと思います。

令和3年度は「新しい当たり前」をつくり、それを「実践」していく年です。「基本のABC」の大切さは「不変」です。しかし、「基本のABC」の中身を「新しく進化させていく」こと、そしてそれを「実践していくこと」が大切だと思います。

校訓「至誠」をいつも心の中に「変えずに」もち、新しい時代の、「新しい当たり前」をみんなでつくっていきましょう。これからはじまる令和3年度、皆の力を合わせて、「進化の一年・新化の一年」にしていきましょう。